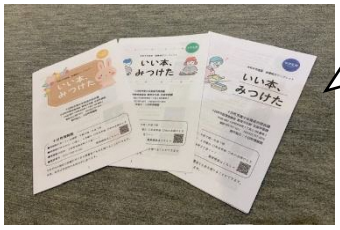
子ども読書推進通信 NO.136　R8. 10.22　発行：十日町情報館　林　篤子

◎読書週間です（10/27～11/9）



今回の標語は**「静かだけど、冒険中。」**です。情報館では、様々なテーマ図書を設置しています。今月のテーマは**「あきっておおいそがし」「追悼　倉本聰さん」「追悼　草間彌生さん」「追悼　東野圭吾さん」「宇野千代さん」「生誕 130 年　宮沢賢治」「すてきなおしごと（10/30～）」**など、眺めているだけで世界が広がるようです。情報館の中で、静かな冒険をしてみませんか。



今年度の『いい本、みつけた』できました！

読書週間に合わせて、市内の園、小・中学校に配布されます。素敵な本に出会えますようにとの願いを込めて、情報館職員が１５冊の本を選書し、時間をかけて丁寧に作成しました。「お気に入り度」の星はいくつかな？楽しみながら活用してもらえたら嬉しいです。

◎読み聞かせの仕方の授業　9/24

下条中３年生



昨年に続き、下条中３年生の皆さんが下条小１，２年生に読み聞かせをする**「秋の読み聞かせの会」**の事前準備のため、**読み聞かせの仕方についての授業を**しました。読み聞かせをする際に気をつけることなどをお話をし、絵本**『てぶくろ』**を使ってデモンストレーションを行い、その後２人組になり、持ってきた絵本で練習してもらいました。そして２人の生徒さんに、前に出て実際に読み聞かせをしてもらいました。

持ち方、ページのめくり方、姿勢、読み方など、聞いている人のことを考えながら読み聞かせをしていることが伝わってきました。最後に絵本**『かぜはどこへいくの』**を読み聞かせして終わりました。

「幼稚園や小学生のころ何気なく聞いていた読み聞かせも、読み手の沢山の工夫があったんだなと驚きました。」「中３になって久しぶりに読み聞かせを聞いてみて、こんなに集中して聞いていられるのは色々なことに注意をしているからなのだと思った。読み聞かせの際に演じなくて良いのは、聞き手が想像力を働かせているからと知って、なるほどと思った。」など生徒さんから素敵な感想をいただきました。

「あなたの読み聞かせの思い出は？」の質問に、園や小学校、家で読み聞かせをしてもらった記憶が浮かんだようです。そんな**記憶は受け継がれていく**と思います。体験したからこそ、良さを理解し、同じようにしてあげたいと思うのではないでしょうか。「秋の読み聞かせの会」の記憶も小学１，２年生の皆さんの心の中に残ることでしょう。読み聞かせをしてもらった側から、読み聞かせをする側へ。自信をもって読み聞かせをすることができたことと思います。

◎ 貸出し用の絵本の設置場所



先日、保育園に読み聞かせに行きました。運動会の後で疲れが出ているであろう子どもたちでしたが、とても静かに聞い入る姿に、疲れている時こそ、読み聞かせは有効なのかもしれないと感じました。

また、こちらの園では、**貸出し用の絵本が、玄関に設置**されていました。設置後は、送迎にいらした保護者の方の目に入りやすく、本の貸出し数も増えたそうです。こうした工夫が、子どもたちの読書環境を整えることにつながるのだと思いました。

きらきら西保育園

